

各位

日本学術会議協力学術研究団体として登録されています。

会則（裏面）に賛同される方は、どなたでも入会できますので、ぜひご入会下さい。

会の創立以来の活動の詳細については会のホームページ

<http://war-medicine-ethics.com/> をご参照ください。

登録は下記申込用紙にご記入の上事務局にお送りくださることによりできます。

15年戦争と日本の医学医療研究会入会申込書

貴研究会の趣旨に賛同し、入会申し込みをいたします。

年 月 日

15年戦争と日本の医学医療研究会 御中

ふりがな

入会者名

性別(男・女) 生年月日(西暦 年(明、大、昭 年) 月 日)

(希望連絡先として以下のどちらかを選んで○をカッコ内につけてください。)

() 自宅住所 〒

電話

FAX

E-mail

() 主な所属の名

職種・職名等

所属住所 〒

電話

FAX

E-mail

要望事項

注：会員には会誌、会報が無料で配布されます。

入会申込書は下記に郵便、FAX、電子メールのいずれかにてお送り下さい。

〒604-8453 京都市中京区西ノ京小堀池町5-2

近畿高等看護専門学校内

15年戦争と日本の医学医療研究会事務局 宛

FAX 075-802-0690 E-mail: warandmedicine@aol.com

入会申込受付時に受取人払用の振込票(郵便振替口座:00980-1-16530 加入者名:15年戦争と日本の医学医療研究会)を送りますので、同振込票にて会費を振り込んでください。

15年戦争と日本の医学医療研究会会則

- 第1条 本会は15年戦争と日本の医学医療研究会 (Research Society for 15 years War and Japanese Medical Science and Service) という。
- 第2条 本会は15年戦争をめぐる日本の医学医療界の責任の解明を目的とする。
- 第3条 本会はその目的達成のために次の事業を行う。
1. 15年戦争と日本の医学医療に関する史実・証言の収集調査とその研究
 2. 会務総会の開催
 3. 15年戦争と日本の医学医療研究会会誌 (Journal of Research Society for 15 years War and Japanese Medical Science and Service) などの発行
 4. その他必要な事業
- 第4条 本会の目的・会則に賛成する個人は会員となることができる。入会を希望する者は氏名、連絡先を添えて事務局に申し込めば入会の手続きがなされる。団体としての会員は認めない。
- 2) 学生会員、会誌会員、賛助会員、顧問をおくことができる。入会を希望する学生は氏名、連絡先を添えて事務局に申し込めば入会の手続きがなされる。会誌会員、賛助会員については、希望する者・団体は氏名あるいは団体名、連絡先を添えて事務局に申し込めばその手続きがなされる。顧問は会務総会で決定する。
- 第5条 会員、学生会員、会誌会員、賛助会員は毎年、その年度の会費を取めなければならない。会費を払わないときは、その資格は失われる。
- 第6条 会員、学生会員は総会に出席して研究調査の発表や史実の紹介・証言を行い、15年戦争と日本の医学医療研究会会誌 (Journal of Research Society for 15 years War and Japanese Medical Science and Service) 上における発表の資格を持ち、また同誌の配布、諸行事の案内を受けることができる。会員、学生会員は会務総会において会務を議決する。
- 2) 会誌会員、賛助会員、顧問には会誌が配布される。
- 第7条 本会の会務の遂行は、会務総会において会員、学生会員中より選出された若干名の幹事よりなる幹事会がこれに当たる。幹事の任期は2年として再任を妨げない。
- 2) 会には幹事の互選による幹事長、副幹事長をおく。幹事長は会を代表する。副幹事長は幹事長を補佐し、幹事長にことある時はその代行を務める。
 - 3) 会には監査をおく。監査は会の会計その他の会務を監査しその結果を会務総会に報告する
- 第8条 年次予算、会則変更等重要事項の決定は会務総会の議決を経なければならない。会務総会は委任状を含め会員の過半数の出席で成立する。
- 第9条 本会の諸行事、出版物などは会員外に公開することができる。
- 第10条 本会の会計年度は、毎年1月に始まり、同年12月に終わる。

付則

- 第1条 本会則は2000年6月17日より発効する。
- 第2条 本会則によって世話人が決定されるまで現在の世話人がその会務を遂行する。
- 第3条 会費などは当分の間
- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 会費 | 年度ごとに必要に応じてその額を定める(2000年度は5000円)。 |
| 雑誌購読料 | 実費とする。 |
- 第4条 2002年度の会計年度は2002年3月17日より同年12月31日までとする。

附記 2001年6月16日改訂

附記 2002年3月17日改訂

15年戦争と日本の医学医療研究会会誌論文等総目次(第13巻第1号迄)

Table listing articles from the journal 'Journal of the Japanese Society for the History of Medicine and Medical Care' (第13巻第1号迄). Includes titles like '15年戦争と日本の医療' and authors like 昭三, 勝夫, etc.

Table listing articles from the journal 'Journal of the Japanese Society for the History of Medicine and Medical Care' (第13巻第1号迄). Includes titles like '15年戦争下の京都大学医学部の核実験活動の報告' and authors like 金森, 原田, etc.

精神病院におけるデング熱感染一戦争と精神科医療、精神医学として精神医学者(その3)一 岡田 瑛雄.....13
731部隊とワグチンメンガー.....19
15年戦争と日本の医学医家研究会第8回定期会務総会決定.....23
東北支那活動便り.....29
連報 医籍書録と731部隊員.....36
西山 勝夫.....37
第8巻・第1号 2007年10月
戦争史研究と医学・医療問題一軍事史と医学史の接点を際る一 吉田 裕.....1
劉連仁を中心に 北海道の中国人強制連行問題.....8
樺太(中ソハルビン)の少数民族 ウィルダと戦争.....11
15年戦争と佳木新医科大学.....19
100部隊について.....23
「人体の不思議」を考察する.....26
「陸軍医学学校防疫研究報告2部」の分析(その二) その研究に加担した医学者たち.....31
「日本関東軍兵隊報告集」の資料紹介とその分析(その1) 一戸 富士雄.....37
日中戦争期の国際連盟による対中防疫支援と日本.....41
第9巻・第2号 2008年3月
第27回研究会記念講演 日本医学総会出版「戦争と医学」展実行委員会主催
国際シンポジウム「戦争と医学の倫理」特集
七三一部隊等の被害国国民として.....5
・ 演義「戦争と医学」理.....5
As a Citizen of the Victimized Country.....9
アメリカ人の視点から見た731部隊の戦後史.....11
・ 予「今後遺囑」的、从美国人的、有所谓的731部、的、后史、丹尼、就竟勒.....16
“The Risk of Subsequent Embarrassment” An American’s Perspective. On Unit 731’s Postwar History
Daniel Wikler.....19
十五年戦争中の「医学犯罪」と私たちの今日の課題.....22
「十五年、争中の医学犯罪」与今我、所面、的.....29
“The Medical Crime in the Fifteen Years’ War” and Our Task Today AZAMI Shojo.....34
十五年戦争と日本の医学医家研究会「戦争と医学」第五大訪中記録.....37
第9巻・第1号 2008年10月
731部隊の秘密を追って 奉天捕房収容所で何があったか ～60年後に判ったこと～
西里 扶南子.....1
南京事件の難民への医療支援一南京安全区国際委員会と同仁会一.....13
15年戦争中の政府の「科学勳章」政策と「官立金澤医科大学」.....19
報告「5年戦争と日本の医学医家研究会会務総会(第9回)」.....30
第9巻・第2号 2009年6月
軍医早尾浩雄の戦場報告.....1
「日本関東軍兵隊報告集」の資料紹介とその分析(その2) 一戸 富士雄.....7
第6次訪中調査報告 2008年9月17日～23日.....14
報告 15年戦争と日本の医学医家研究会会務総会(第10回).....22
第10巻・第1号 2009年10月
京大理学部教室における731部隊の清算.....1
ナチ時代の医師の犯罪と医師たちの戦後.....11
第2次大戦と東京大学医学部卒業生をめぐって一戦後遺言の解説一.....21
「陸軍医学学校防疫研究報告II部」の分析(その三)
研究報告中の「ベススト」関連研究論文について.....26
「日本関東軍兵隊報告集」の資料紹介とその分析(その3).....34
報告「ハイラル要塞遺跡」訪問記.....43
日本関東軍兵隊報告集の戦況と戦後兵の復讐.....46
第10巻・第2号 2010年6月
日中戦争期の日本軍による細菌戦と朝鮮戦争期の米軍による
細菌戦の類似性・連続性について.....1

空襲時精神一植込七九部、墮入園枯の資料から一 岡田 瑛雄.....10
「陸軍医学学校防疫研究報告II部」の分析(その四)
山中太夫論文の出自及び1644部隊での人体実験.....15
第7次訪中調査報告 2009年9月17日～23日.....19
報告
15年戦争と日本の医学医家研究会会務総会(第11回).....69
15年戦争と日本の医学医家研究会誌に掲載の著作についてのお願い.....75
本誌に掲載された論文等の索引
第11巻・第1号 2010年10月
日赤社員制度と従軍看護婦.....川口 啓子.....1
「陸軍医学学校防疫研究報告II部」の分析(その五).....10
研究論文中の「鼻疽菌」関連論文について.....16
“調査開拓青少年義勇軍”の医療衛生.....神谷 昭三.....21
「ダクウェイ文書」の『Gレポート』について.....荻 昭三.....26
「15年戦争と日本の医学医家研究会」10年史.....西山 勝夫.....32
ニュース「元731部隊員医師の医籍登録抹消」など.....西山 勝夫.....54
集評 金成民、中野勝博『続・老兵の告白』.....吉中文志.....55
第11巻・第2号 2011年5月
731部隊隊地の植木の調査・評価、現状保護及び計画.....金 成民.....1
麻酔剤使用による抗日活動家に対する民間第一番兵隊の軍医利用の問題一.....戸 富士雄.....12
「戦争と医学の倫理」の検証の現段階について.....西山 勝夫.....17
第8次訪中調査報告 2010年9月2日～11日.....第8次訪中調査団 22
中国浙江省衢州・樂山村・樂島における細菌戦被害者の聞き取りの調査報告
西里 扶南子、末永 恵子、王 遠.....35
報告
ハルビン社会科学学院、731部隊罪証陳列館、細菌戦被害者家族一行と東京大学および京都大学医学部学部長
との懇談報告.....吉中文志.....43
第12巻・第1号 2011年12月
細菌戦部隊の史料と一将校の顔末.....近藤 昭二.....1
“A”レポート及び“G”レポート(「ダクウェイ文書」)について.....荻 昭三.....9
アジア太平洋戦争期における医者機関の卒業生の戦況者について.....末永 恵子.....15
731部隊を建設した日本の建設業者.....広原 盛明.....22
第9次訪中調査報告 2011年9月2日～11日.....第9次訪中調査団 35
第12巻・第2号 2012年5月
日本におけるキリスト者医師と十五年戦争.....小島 祐明.....1
外畑の医学校一戦時下を中心として.....泉 孝英.....10
元日本陸軍将軍・遠藤三郎と第731部隊.....吉田 順二.....13
書評
香木達生の『魂の南国』『誓の旗跡』の2つの作品について.....一戸 富士雄.....26
高谷清著『重い傷を生きるということ』.....末永 恵子.....31
報告
15年戦争と日本の医学医家研究会会務総会(第13回).....33
第13巻・第1号 2012年11月
第七三一部隊外支支部遺跡調査報告.....楊彦君、魯丹 1
731部隊関係者等が京都大学医学博士論文の構成.....西山 勝夫 9
書評
神谷昭典著『権民地医育論一台湾、朝鮮、“満蒙地域”を中心として』.....末永 恵子 41
報告
15年戦争と日本の医学医家研究会幹事会議事録.....42
展示会場(京都大学百周年時計台記念館京都大学国際交流ホール)
書籍にて10巻迄は特別価格1600円にて販売(定価2000円)